

ワークショップ

# 北海道の過疎地における 持続可能な水供給の 実現に向けて

## Passive Gravity Driven Membrane Filtration技術と 地域にとって持続可能な 水供給システム

日時： 2024年10月22日(火)  
15:00～17:30

会場： 北海道大学百年記念会館  
(札幌市北区北9条西6丁目)

日本語で参加  
いただけます

英語／日本語の  
逐次通訳に対応します。

基調講演：**Passive Membrane Filtration  
- Idea to Implementation -**

…… Pierre Bérubé教授(ブリティッシュコロンビア大学)

話題提供：**北海道の過疎地における水供給の実態と対応策  
～道総研・戦略研究および重点研究の成果から～**  
……(地独)北海道立総合研究機構



←申し込みはこちらから(申込〆切：**10月15日(火)まで**)

(<https://forms.gle/BzVSd7A7a8RX2UqB6>)

その他、お問い合わせはkkatsu@eng.hokudai.ac.jp(木村)まで

主催： 北海道大学工学部

共催： 日本水環境学会北海道支部、北海道立総合研究機構(戦略研究・地域Ⅱチーム)

## 趣旨:

人口減少が急速に進む我が国では、過疎地における持続可能な水供給の確保が喫緊の課題となっています。特に、北海道のような寒冷地においては、寒冷地特有の問題が多々生じることもあり、対応策の確立が難しくなっています。北海道と気候条件が似たカナダにおいて膜ろ過の特徴を活かした小規模浄水システムが開発され、複数の実施設が良好に稼働しています。カナダの事例には、北海道における小規模水道の課題解決に参考とできる内容が数多く含まれるはずです。この度、小規模膜ろ過浄水システムの開発者であるブリティッシュ・コロンビア大学のPierre Bérubé教授を招へいできる機会を得ました。カナダで稼働しているシステムの詳細についてうかがい、北海道内での適用についても考えてみるのはいかがでしょうか。また、北海道の農山村地域を中心に、道総研が取り組んできた地域水インフラに関する研究の成果についても披露し、意見・情報交換を行う時間も用意しました。関係する技術者、研究者の皆様にお集まりいただき、今後の北海道内小規模水道について考える時間としたいと思います。

北海道大学工学研究院教授／日本水環境学会北海道支部長 木村克輝

## 講師紹介



### Pierre Bérubé 教授

ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)  
応用科学部土木工学科教授  
水処理・廃水処理用膜技術の開発と最適化に関する15年以上の研究・コンサルティング経験を持つ。カナダ自然科学・工学研究評議会(NSERC)、カナダ水ネットワーク、水環境研究財団、欧州膜ネットワークの助成を受けた数多くの研究プロジェクトにおいて、国内外の研究者と積極的に共同研究を行っている。

(ブリティッシュコロンビア大学ウェブサイトより)

## タイムテーブル

14:30～

**開場**

15:00～17:30

**ワークショップ** 於・百年記念会館 大会議室

1. 開会挨拶／2. 話題提供／3. ポスターセッション／4. 基調講演／5. 閉会挨拶

18:00～

**懇親会** 於・北大マルシェCafé&Labo (百年記念会館内)

会費2,000円 事前申し込み必要

## 会場へのアクセス



### 北海道大学 百年記念会館

- JRをご利用の場合  
JR「札幌駅」下車、徒歩10分
- 地下鉄をご利用の場合  
市営交通・地下鉄南北線  
「さっぽろ駅」下車、徒歩11分  
「北12条駅」下車、徒歩7分

※当施設には駐車場がございません。  
最寄りの公共交通機関のご利用をお願いいたします。